

イベント学会 ご案内

イベントは新たな時代を創造する

感動、喜び、発見、楽しみ

イベントには新たな時代を創る力がある

2021年9月



Japan Institute of Eventology
イベント学会

□イベント学会の「目的」

本学会は、イベントに関する多様な人材の知見、技能を結集、交流、統合し、イベント学(イベントロジー)を振興するとともに、その成果を広く社会に還元することを目的とする。

□イベント学会の「事業」

- (1) イベントの価値や技法に関する調査、研究、開発
- (2) 研究大会の開催
- (3) 機関誌の発行
- (4) 会員の相互交流
- (5) 人材の育成
- (6) イベントに関する政策提言
- (7) イベントの企画、提案、プロデュース
- (8) 前各号の他、本学会の目的を達成するために必要な事業

□2021年度の「おもな活動」

【第24回研究大会】

日程：2021年11月6日(土)・7日(日)の2日間

会場：6日／大阪市住まい情報センター 3階ホール

7日／大阪府立大学 I-siteなんば 2F

テーマ：「バンパクのカタチ ～SDGs+beyond 新世紀の幸福論～

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)に向けて」(実行委員長:橋爪紳也)

【機関誌「イベント学研究」第5巻発刊】

内容：総説、原著論文、研究資料(査読あり)、報告、提言、書評(査読なし)

日程：投稿募集締切り 2021年12月15日(水) 発刊：2022年3月予定

【その他の活動計画】

- ・研究助成(一般会員30万円×1件、学生会員10万円×2件) 後日発表
- ・イベントロジーオンライントーク(隔週水曜 zoomにて開催)
- ・東日本・中部・西日本地域本部主催事業／交流サロン／親睦会 等

【研究会活動】

- 各種テーマ別研究会の実施 ※詳しくはウェブサイト、メールニュースにてご案内

□ イベント学会の沿革と研究大会(会場、実行委員長)

1998年 3月	イベント学会設立 東京大学名誉教授木村尚三郎氏が会長就任
1998年11月	イベント大学 スポーツイベント学講座(順天堂大学～99年3月まで)
1998年12月	第1回研究大会 「イベントシティの創造をめざして」(パシフィコ横浜)
1999年 6月	第2回研究大会 「イベントが拓く21世紀」(順天堂大学)
1999年 9月	イベント大学 浜松講座(浜松市～翌1月)
1999年12月	浜松大会 「起街家時代を拓く・人が人を集めるタウンイベント」(アクトシティ浜松)
2000年 6月	第3回研究大会 「デジタルネットワーク時代におけるイベントの可能性」(中央大学)
2000年12月	大阪大会 「国際迎賓都市OSAKAを築く」(大阪城公園)
2001年 6月	第4回研究大会 「新世紀イベントを創造する・飛躍する21世紀イベント」(順天堂大学)
2001年 8月	多摩大会 「タウンコミュニティの再生とイベント・新たな伝統の創造と地域文化の創出」(パルテノン多摩)
2002年 7月	第5回研究大会 「イベントの文化経済学」(順天堂大学、実行委員長:間宮聡夫)
2002年 7月	元経済企画庁長官 堺屋太一氏が会長就任
2002年 7月	東海大会 「大交流時代におけるまちづくり・地域づくりとイベントの活用」(ナディアパーク デザインセンタービル)
2003年 6月	第6回研究大会 「21世紀イベントの可能性を探る」(順天堂大学、実行委員長:望月照彦)
2003年11月	イベント学会・創立5周年記念東京大会 「イベント・オリエンテッド・ポリシー」
2004年 7月	第7回研究大会 「イベント・マネジメントを成功させるために」(東京グリーンパレス)
2005年 7月	第8回研究大会 「博覧会スタイルのイベントの行方」(東京グリーンパレス)
2006年 1月	兵庫大会 「災害を生き抜くイベント『耐災の日』を提案する」(兵庫県公館)
2006年 6月	第9回研究大会 「新しい時代をリードする団塊の世代とイベント」(東京グリーンパレス、実行委員長:秋岡栄子)
2006年10月	敦賀大会 「ユーラシア大陸と日本海の新しい関係」(プラザ萬象)
2007年 7月	第10回研究大会 「スポーツイベントが都市にもたらすもの」(東京グリーンパレス、実行委員長:野川春夫)
2008年 9月	イベント学会・創立10周年記念『イベント学のすすめ』出版(ぎょうせい、著者:堺屋太一ほか)
2008年 9月	第11回イベント学会創立10周年記念大会「イベントイノベーション」(上智大学、実行委員長:野川春夫)
2009年 5月	第12回研究大会 「イベントが都市を創造する」(パシフィコ横浜、実行委員長:宮木宗治)
2010年 9月	第13回研究大会 「イベントが都市を創造する」(大阪市中央公会堂・国立民族博物館、実行委員長:橋爪紳也)
2011年 9月	第14回研究大会 「イベントが都市を創造する」(国際ファッションセンター、実行委員長:師岡文男)
2012年 9月	イベントサロン2012(第15回研究大会) 「こころの復興とイベント」(せんだいメディアテーク、実行委員長:野川春夫)
2013年11月	イベントサロン2013(第16回研究大会) 「イベント・ルネッサンス」(順天堂大学、実行委員長:野川春夫)
2014年11月	イベントサロン2014(第17回研究大会) 「イベントと観光立国 歴史・都市・フェスティバル」(大阪府立大学 I-siteなんば、実行委員長:橋爪紳也)
2015年10月	第18回研究大会 イベントサロン2015名古屋 「地域創生とイベント」(名古屋ミッドランドホール、実行委員長:新井野洋一)
2016年11月	第19回研究大会 (上智大学、実行委員長:福井昌平)
2018年 2月	第20回研究大会 「イベントロギー再興」(東海大学、実行委員長:萩裕美子)
2018年12月	第21回研究大会 「感性×技術のインターセクション」(大田区民ホールアブリコ、実行委員長:岡星竜美)
2019年 6月	元愛知万博事務総長 中村利雄氏が会長就任
2019年12月	第22回研究大会 「ゴールドンスポーツイヤーズと次世代育成」(日本青年館ホテル、実行委員長:上代圭子)
2020年11月	第23回研究大会 「コロナ禍への危機対応と、ウィズ&ポスト・コロナ時代におけるイベントロギーの展望」(東京・大阪・名古屋の3会場+インターネットクラウド、実行委員長:福井昌平)

□ イベント学会役員

会 長	中村利雄	(公財)全国中小企業振興機関協会 会長	理 事	萩裕美子	東海大学 体育学研究科長 教授
副会長	野川春夫	武庫川女子大学 学術顧問	理 事	古澤礼太	中部大学 国際ESD・SDGsセンター 准教授
副会長	橋爪紳也	大阪府立大学 特別教授	理 事	町田 誠	横浜市立大学 大学院 客員教授、 (一財)公園財団常務理事
副会長	福井昌平	CI戦略プロデューサー	理 事	宮本倫明	(株)Landa 代表取締役
理 事	岡星竜美	目白大学 メディア学部 特任教授	理 事 (副事務局長)	守屋慎一郎	合同会社企画室 代表
理 事	加藤淑子	(株)エンコーポレーション 代表取締役社長	理 事	師岡文男	上智大学 名誉教授、スポーツ庁前参与
理 事 (事務局長)	上代圭子	東京国際大学 人間社会学部 准教授			
理 事	谷喜久郎	(株)新東通信 代表取締役会長兼社長	監 事	穂苅雄作	(一社)日本イベント産業振興協会 前専務理事
理 事	信時正人	(株)エックス都市研究所 理事	監 事	松平輝夫	(一社)日本イベント協会 理事長

□ 研究大会後援自治体(実績)・賛助会員

研究大会後援自治体(実績)	シンテイ警備(株)	(株)日展
大阪府・大阪市・静岡県・東京都・墨田区	(株)新東通信	(一社)日本イベント産業振興協会
大田区・仙台市・多摩市・敦賀市・浜松市	(株)セイムトゥー	(株)日本経済新聞社
愛知県・名古屋市・兵庫県・横浜市	セントラルスポーツ(株)	(株)乃村工藝社
賛助会員	(株)大広	(株)博報堂
(株)アート・ファーマー	(株)丹青社	(株)博報堂プロダクツ
飯田電機工業(株)	(株)つむら工芸	(株)フジヤ
(株)ADKクリエイティブ・ワン	(株)テー・オー・ダブリュー	(株)ムラヤマ
(株)NHKエンタープライズ	(株)電通	レントオール仙台(株)
(学)片柳学園	(株)電通ライブ	
(株)シミズオクト	東武トップツアーズ(株)	
(学)順天堂大学	(株)東急エージェンシー	

□ 会員の種別と会費、入会手続き

会員種別	入会金	年会費	対象
個人会員	5,000円	10,000円	研究者・実務者等の個人
賛助会員	(1口)100,000円	(1口)100,000円	企業・団体等の法人、自治体
準会員	なし	2,000円	大学生・院生・専門学校生等

イベント学会のホームページ(<http://eventology.org/>)から入会申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、郵送・PDFメール添付・FAXのいずれかの方法で、イベント学会事務局宛にお送りください。

イベント学会事務局

〒102-0082 東京都千代田区一番町13-7番町 KGビル3F

TEL : 03-5215-1680

FAX : 03-3238-7834

e-mail : info_info@eventology.org

URL : <http://www.eventology.org/>